

龍谷大学政策学部

政策実践・探究演習「南丹プロジェクト」

南丹市日吉町世木地域における地域ブランド創出による

持続可能な農山村づくり



RYUKOKU
UNIVERSITY

南丹プロジェクトとは

「南丹プロジェクト」は、2021年度より世木地域振興会と連携を始め、持続可能な農村づくりのため、地域資源を活かした商品の開発やフェノロジーカレンダーの作成に、南丹市日吉町世木地域の皆さんとともに取り組んできました。

指導責任者

政策学部教授 大石尚子

専門分野

ソーシャル・イノベーション
農村地域開発
食農政策

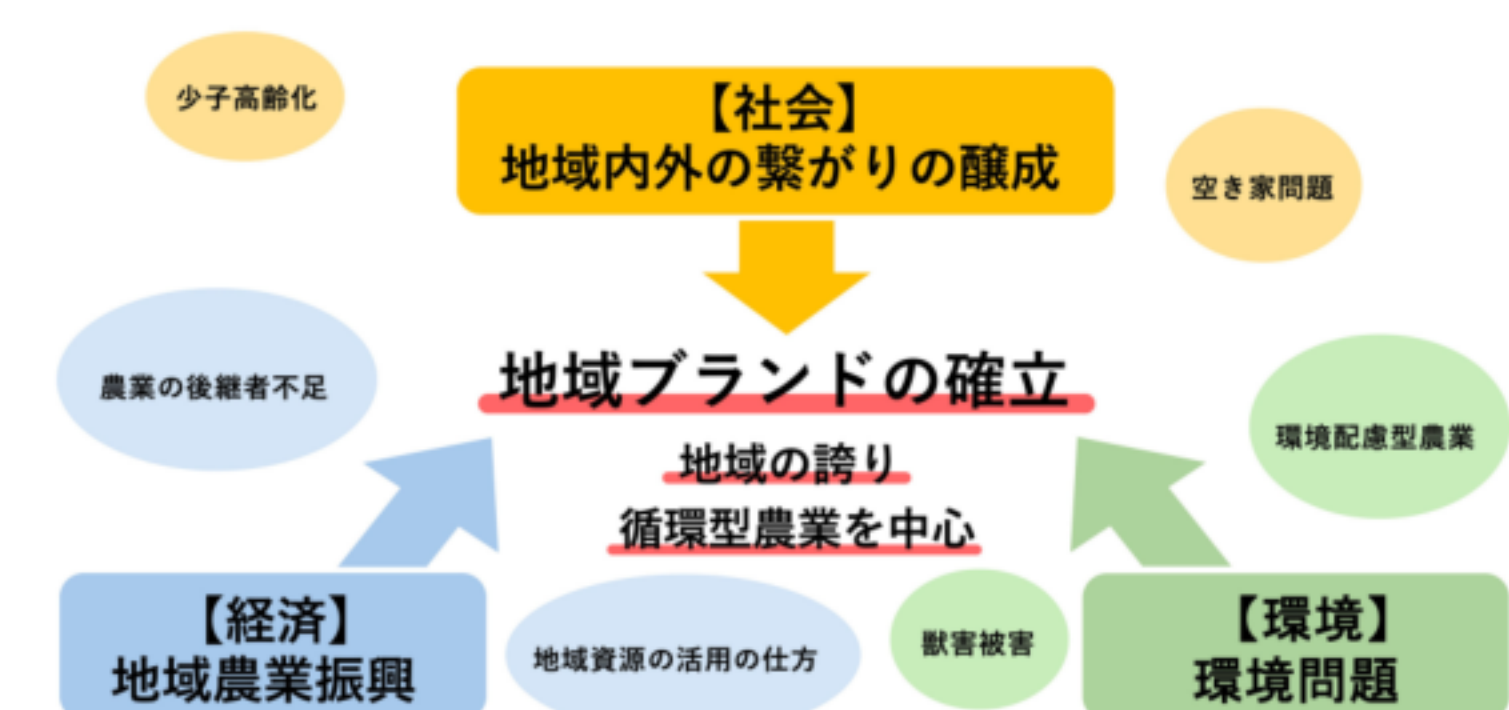


南丹市日吉町世木地域

南丹市日吉町にある人口600人、高齢化率50%の農山村。殿田、木住、生畑、中世木の4集落で構成されます。



地域課題とビジョン



地域サステナビリティを高めつつ、その成果を地域ブランド確立に活かす！

2024年度の活動

1

地域の伝統食「納豆餅」を通じた地域ブランディング活動

地域の伝統食「納豆餅」の味ヴァリエーションの多様化と商品化に成功



学生と地域メンバー共同で試作を繰り返し、砂糖、コチュジャン・チーズ、柚子胡椒味を開発。課題は継続的な生産体制構築と販路開拓。

2

世木環境農産認物認証基準の策定と試験運用

認証基準を4段階に分けることで生産者ヘインセンティブを付与



レベル1：地場産であれば認証可、レベル2：特別栽培基準を準用、レベル3：有機栽培基準を準用、レベル4：地域産有機資材を使った循環型農法。課題は取り組む生産者募集と消費者認知の拡大。

3

「世木地域ツーリズムMAP」の作成

世木地域を構成する4集落の関係深化＋関係人口の創出ツール



世木地域全体の自然・文化資源を一覧にしたフェノロジーカレンダーと、知る人ぞ知る地域のささやかな宝ものを時間をかけて体験できるルートを設定した観光マップで構成。課題は訪問者受け入れの体制構築、人材育成。

実施者の想い

中山間地域の魅力に触れ身近な存在になった（学生）
南丹市役所が進路のひとつになった（学生）
学生の活発さが集落間のつながりを強めた（地域）